

**令和5年度 がん教育等外部講師連携支援事業「がん教育外部講師派遣」報告書**

学校等名 <u>平戸市立中野中学校</u>	担当者名 <u>田中 ほのみ</u>
電 話 <u>0950-22-9246</u>	F A X <u>0950-24-2620</u>

<b>実施日</b>	令和 5 年 11 月 29 日 (水) 12:30 ~ 15:30				
<b>場 所</b>	平戸市立中野中学校 パソコン室				
<b>講座名</b>	「がんと緩和ケア」～緩和ケアチームの活動を通して～				
<b>講 師</b>	佐世保市総合医療センター 緩和ケア認定看護師 濱口 幸人 氏				
<b>近隣校への案内</b>	案内先: 中野小学校、田平中学校、野子小学校 計 3 校				
<b>参加者</b>	生徒 全学年 ( 19 )人	学校職員 ( 7 )人	保護者 ( 0 )人	他校職員等 ( 4 )人	その他 ( )人
	総計( 30 )人				
<b>テーマと内容</b>	テーマ「がんと緩和ケア」～緩和ケアチームの活動を通して～ ・がんとは(講師による講話) ・治療病院での緩和ケアの役割(講師による講話) ・実際の緩和ケア事例(講師による講話)				

**<当日の様子> \* 事業の様子等を必ず画像で添付してください。**



**<講師からの指導や助言・成果>**

- ・がんになっても現在は様々な治療法が確立され、仕事をしながら通院治療をする人も増えている。
- ・緩和ケアは終末期の患者さんだけでなく、がんになったすべての人が受けられるものである。様々な専門家がそれぞれの分野から、患者さんやその家族の身体面・精神面・社会的な面のケアを行っている。
- 現場で働かされている専門家の話を聞くことができ、がんやがん患者への正しい理解が深まったと感じる。
- 実際の緩和ケアの例を聞くことで、その人の価値観やニーズに寄り添い、その人にとっての最善を考えていくことが大切であるということが生徒へ伝わったと感じる。

**<今後の取組及び課題> \* 今後のがん教育の充実に向けての活用等**

今後も、がんについての知識だけではなく、がん患者やその家族の心情を考え、寄り添えるような生徒を育てていきたい。そのためにも、今回のような専門家の話を聞く機会を毎年設けていきたい。

また、外部講師のみに頼るのではなく、保健教育、保健指導や学校生活全体を通して系統的にすすめられるよう、職員間の共通理解を図っていく。